

JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報(月刊) ジェービーイー・ニュース

2021

2

Issue No. 388

- 1 第231回ビジネスセミナー報告
- 2 教育文化部主催ウェビナー報告
- 3 JBA会員企業インタビュー
- 4 あさひ学園高等弁論大会 最優秀賞受賞弁論の発表
- 5-6 各部会からのお知らせ
- 6 新入会企業紹介
- 7 2月、3月のイベントカレンダー

編集・発行 Japan Business Association of Southern California
1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone: 310-515-9522

制作協力 Lighthouse

©JBA 2021 本誌掲載の記事・写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

企画マーケティング部会
オレンジカウンティ地域部会

第231回

JBAビジネスセミナー報告

「新大統領誕生が 日系企業に与える影響」

去る12月10日、NRI / 野村総合研究所アメリカの石崎宏幸さんを講師に迎え、バイデン政権誕生後に考えられる影響に関するビジネスセミナーをオンラインで開催した。

【講師】

石崎宏幸さん



NRI / 野村総合研究所アメリカ所属の戦略コンサルタントパートナー。米国を拠点に25年以上、北米、欧州、日本、オセアニア地域の製造業のクライアントを中心に、成長戦略、クロスボーダーM&A、デジタル改革、企業再編など幅広い分野のコンサルティングサービスを提供。

様変わりするエネルギー、自動車業界

最初に石崎さんは、バイデン大統領誕生による業界への影響について、「興味深いことに、製造業の株価は全般的に上向いています。金融業界も3月2日のパンデミック前のように戻ってきました。テクノロジー業界では、いろいろなセクターが台頭しています。『Zoom』も然りです。反対に、オイルとガスの業界は、バイデン政権の影響も大きく受けて、今もパンデミック前の状況に戻っていません」と説明した。

また、バイデン政権の影響が色濃く出る業界として、エネルギー、インフラ、自動車を挙げた。「エネルギーに関しては、パリ協定に再度加盟するでしょう。インフラはトランプ政権では特にポリシーがありませんでした。バイデン政権では雇用面も含めて大きな動きが出ます。自動車業界は180度転換するでしょう。カリフォルニアは特に自動車に対して規制が厳しく、ゼロエミッションビークル規制も掲げています。2035年にはハイブリッドを含めたオール電化に転換していきます。こうして電気自動車に重点が置かれ、自動運転も推進する方向です。コロナの期間、多少停滞したカーシェアリングも再び前に進むでしょう」。

さらに、パンデミックで苦境に立たされ

ている航空業界とホテル業界について「救済措置が検討されるでしょう。具体的な形はまだ出ていません。ワクチンがどこまで普及するかで状況は大きく変わります。マスク着用も、バイデン就任後100日間は国民に義務化すると明言しています。できる限りの規制を実施するでしょう」と展望した。

小切手支払いや失業保険期間延長

続いて、新型コロナウイルスがもたらす世界経済への影響について、「世界の経済状態が2019年並みに戻るのはいつでしょうか。IMFによるとGDP回復はアメリカが2022年、欧州が22年か23年、日本は24年以降と予測されています。2008年のリセッションの時は回復に数年を要しましたが、今回の打撃は一過性のもので、特に個人消費支出の回復が今回は早く、リーマンショック時とは異なります。しかしながら、唯一苦境にあるのがサービス業です。また、渡航制限が続く中でインバウンドの早期回復の望みは薄いと考えられます」と話した。

このような中、バイデン政権と民主党は、消費者の収入とビジネスの安定化を支援するために、納税者への追加小切手の支払いや失業保険の期間延長を検討中であることを紹介してセミナーを締めくくった。

スタート・パシフィック



海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。



日系不動産仲介企業の リーディングカンパニー

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールドットーランスにございます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております！

海外への進出企業を 一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

もちろん、個人の 住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国の日本での住まい探しもご相談下さい。

●ロサンゼルス店:

TEL (310)782-7877

21151 S. Western Ave. #227, Torrance, CA 90501

info@startsla.com

www.starts.co.jp/la

●ニューヨーク店:

TEL(212)599-7697

www.startsnewyork.com

●サンゼン店:

TEL(408)380-2499

www.starts.co.jp/sanjose

●スタートコーポレーション株式会社:

TEL (03)6202-0111(代表)

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10

スタート八重洲中央ビル

www.starts.co.jp

●ハワイ店:

TEL(808)947-2280

www.startshawaii.com

●ダラス店:

TEL(646)708-6194

https://kaigai.starts.co.jp/dallas

教育文化部会

「これで安心！ Distance Learning (遠隔学習)お教えします！」 ウェビナー報告

去る12月11日、グレンデール学校区日英双方二カ国語教育統括のテイラー亜矢さんを講師に迎えて、バンデミック下における遠隔学習の受講法のコツについての教育ウェビナーが開催された。



【講師】
テイラー亜矢さん

グレンデール学校区日英双方二カ国語教育統括。大阪府出身。日本で大学卒業後にサンフランシスコ州立大学日本語(教授法)修士号取得。大学・短大・私立中学・プライベートスクールで日本語教員を務めた後に、公立の小学校で日本語教員(カリフォルニア州日本語・担任の免許を取得)として勤務。高校生と大学生の二児の母。

教員、子ども、保護者の協力が重要

まず冒頭では河井教育文化部長が挨拶し、「慣れない海外での学校教育のディスタンスラーニングに大変な思いをされていると思いますので、一助になればと、今回の

教育ウェビナーを企画させていただきました」と参加者にメッセージを送った。

続いて、ロサンゼルス近郊のグレンデール学校区で教えるテイラー亜矢さんが講師として登場した。テイラーさんは、まず、教育の成功には三者(教員・子ども・保護者)の協力が大きな鍵であると述べた。「教育にはこれら三者によるチームワークが必須です。また、子どもには子どもの人生があるということを常に念頭に置いてください。他人(自分の子どもも別の人間は他人)はコントロールできないので、自分、つまり保護者が変わらなければ状況は変わらないということを理解してください。子どもは自ら考えて行動できるようになることが大事です。さらに保護者がなんでも自分で解決しようとするのではなく、専門家に頼ることも必要です」。

以上のような心構えを説明した上で、遠隔学習のために教員たちがどのような準備をしたかを紹介した。「今まで使用していた教材をデジタル化するために時間を使いました。プラットフォームに関する勉強をしたり、教員によっては動画を撮影して『Google Classroom』にアップする人もいます」。

このように、教員が万全の準備をして遠隔学習に臨んでいても、悩みは尽きない。「個々の児童のレベルを把握するのに、(遠隔学習だと)より時間がかかってしまいます。低学年の場合は特に、どうしても保護者の助けが必要になります。授業の進行も子どもによって差が生じます。横からお母様の手が出て子どもにハサミを渡したりもされています。ただ、保護者の助けは必要ですが、何から何まで手伝わってしまうと、自分で考えて行動できない子になってしまいます。前の日に授業の準備を一緒にしていただくのが良いと思います。また、自宅で勉強できないような環境にある場合、学校区

によっては、学校に来てアドバイザーの指導の下で勉強できるというケースもあり、このようなプログラムを活用すると良いと思います」。

全てを完璧にしようとしな

また、遠隔学習で実践してほしいことについて次のようなアイデアが提供された。「前もってスケジュールを把握しておいて、他の子どもたちが終わる前に自分の課題が終わったら、待っている間にできることをどんどんやっていくようにしましょう。例えば、そばに本を置いておき、待っている間に読んだりしてもいいと思います。さらに、遠隔学習でも良い姿勢を保つことが重要です。立って授業を受けると集中力が上がります。バランスボールに座りながらでもいいと思います。形式にこだわることはありません」。

最後に、「低学年の場合、遠隔授業に対する保護者の負担が大きい」や「フルタイムの仕事を抱えて、子どもの大量の宿題をどのように手伝ったらいかが分からない」という参加者からの悩みに答えるコーナーも設けられた。

それらの切実な質問に対してテイラーさんは「メリハリを付けましょう。外で走り回ったり、家族で散歩に行ったりする気分転換の時間を設けてください。また、大量の宿題に関しては、教師に相談して、どの宿題から優先的にやればいいのかなど教えてもらってください。全てを完璧にやろうとしなくても大丈夫です。また、子どもにはご褒美などを駆使して、やる気が出るように励ましてあげてください」と、保護者も子どもも息抜きをしながら、また自分たちで何でもやろうとせずに周囲の助けを借りながら、無理なく遠隔授業を続けてほしいとアドバイスした。

医療機器、医薬品、食品、化粧品、放射線機器

FDA・EPA・Prop65

他各種規制対応 専門

Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net
お問い合わせは管家もしくは奥原迄

1411 W. 190th St., Suite 200 Gardena, CA 90248, U.S.A.
グロービッツ コンサルティング • ウェブサイト: www.globizz.net

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
#24

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の事業概要に加え、回答者の南カリフォルニアでの生活に迫るコーナー。



お話をうかがったのは
デビッド工藤さん

All Japan News, Inc.代表。全米レストラン協会認定 ServSafe 食品衛生講師。米国酒焼酎麦酒研究所代表理事。日本酒学講師。1973年に渡米し、日系大手保険会社に30年勤務後に、独立。97年、食品衛生教室の開講。99年日系レストラン協会設立、現顧問。

Web : <https://alljapannews.com>

貴社が取り組まれている事業内容について教えてください。

事業の柱は現在3本あり、まずは全米日本食業界向けの専門誌、『Japanese Restaurant News』の発行です。この情報誌は創業1991年で私が2代目の発行人となります。印刷発行部数は毎月1万部、また電子版は2万人にお届けしています。対象は日本食の食品商社、全米の日本食レストランのオーナーおよびマネージャーの方々です。私がこの情報誌を受け継い

All Japan News, Inc.

専門誌の発行やクラスの開講と、アメリカにおける日本食に特化した事業に取り組む All Japan News, Inc. の工藤さんにお話を聞いた。

だ2005年当時は、日本食レストランの経営者の8割が日本人、2割が非日本人という割合でしたが、現在は9割が非日本人、1割のみが日本人というように逆転しています。ですから英日のバイリンガルの記事を掲載することで、より多くの日本食レストラン関係者に読んでいただけるように努めています。さらに、20年の6月からは中国語と英語のバイリンガルのセクションを背表紙から始まる形でスタートしました。中国系の日本食レストランオーナーにも、日本食のトレンドに関する情報を入手していただき、日々の経営に役立てていくようにという目的です。21年にはスペイン語と英語のバイリンガルの『Japanese Restaurant News』を電子版で配信するために、現在準備を進めています。

事業の2本目の柱は、レストラン関係者に受講していただく食品衛生管理者養成教室の開講、そして3本目は日本酒クラスの開講で、こちらは私が日本酒学の講師のライセンスを取得した16年より主催しています。このように、情報誌発行やクラスの主催を通じて、正しく、かつ最新の日本食に関する情報をお届けすることが使命だと考えています。

貴社の特徴、ビジョンについてお聞かせください。

当社の従業員は全員在宅勤務ですが、プロフェッショナル集団であると自負してい



『Japanese Restaurant News』を発行。

ます。また、今後のビジョンは、日本酒の知識を幅広い層の方々に学んでいただける日本酒クラスをオンラインで全米に広めていくことです。

南カリフォルニアの印象についてお聞かせください。

私は1973年に渡米してから、ロサンゼルス滞在歴が48年目を迎えます。他の場所に移ろうと思わなかったのは、南カリフォルニアの魅力である広大な土地、開放的な雰囲気が理由です。

JBAは今、日本食レストランの支援活動をしています。お気に入りの店とメニューを教えてくださいませんか？

ロサンゼルスダウンタウン近くにある Shibuchō、トランスの Kantaro Sushi、リトルトーキョーの Sushi Gen がお気に入りの店です。全て寿司店ですが、クオリティーやサービスに妥協を許さない点に惹かれて長年通っています。

監査・税務・コンサルティング・日米会計総合サービス プレーガーメティス会計事務所

全世界の主要17都市に事務所を置く世界トップ10の
国際会計事務所の日系部門「NAGANO MORITA」が
米国進出・事業拡大を徹底サポートします！

pragermetis.jp

NAGANO
MORITA
a Division of

Your world. Worth more.

プレーガーメティス
PragerMetis

あさひ学園高等部弁論大会 最優秀賞受賞弁論の発表 Part.2

あさひ学園高等部が、去る11月にトランス校とオレンジ校にて弁論大会を開催。今回は前号のオレンジ校に続き、トランス校で最優秀賞を受賞した弁論を紹介する。

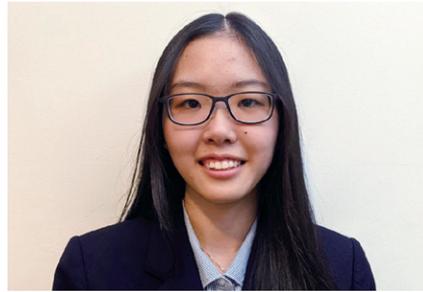
多人種間の理解を深める

トランス校高等部2年・白上夏歩さん

皆さんはアメリカと聞いて、何を思い浮かべますか。5年前、日本で暮らしていた私は、小太りな人がハンバーガーを食べている所を想像しました。今はもちろん、アメリカで自分もハンバーガーを食べ、出会った人々の自己主張の強さや、愛想の良さに触れて見つけた、私なりのイメージを持っています。アメリカは自由の国で、全ての人々に平等な機会が与えられている、夢のような国だという人もいるかもしれません。しかし最近、黒人差別の問題が指摘され、反省と改善の必要性が公にされました。多くの人種が共存するアメリカで暮らす私たちは、積極的に学び、理解を深め、人種差別を社会からなくさなければいけません。

2020年5月25日、ミネソタ州ミネアポリスでジョージ・フロイドさんが死亡しました。両手に手錠を掛けられ、道路に伏していた間、首を警官が足で8分46秒間押さえ付けたことが原因とされました。フロイドさんが「息ができない」と訴えているにもかかわらず、警官が過剰な暴力を使っている動画が公開されました。そこから、多くの方が彼の死は人種差別に関係があるのではないかと指摘しました。そして、「黒人の命は大切だ」という考えに基づいた平和的抗議がアメリカ各地で行われました。私も動画を見て衝撃を受けました。正義的に行動すべきな警察は、誰かが罪を犯したとしても、緊急事態でなければ、殺すまでに至るべきではないと強く感じました。また、普段政治的な話をしない周りの友達もSNSを利用して声を上げていたので、自分で調べてみようと思いました。

差別とは、「偏見や先入観などを基に、特定の人々に対して不利益・不平等な扱いをすること」と、『大辞林 第三版』で定義されています。誰にでも好き嫌いやバイア



トランス校の最優秀賞受賞者、白上夏歩さん。

ス、偏りがあると思います。それらは、意図的でなくても差別的思考の元になります。

子どもたちに人種差別を考えさせる授業で、目の色で扱いを変えるという調査結果が示されました。これはアメリカの差別反対活動家で教育者でもあるジェーン・エリオットさんが、1968年に20人ほどの小学生に対して行ったもの。色が違うだけで人間であることに変わりはないと、子どもでも理解できていました。大人たちが他人の上に立ちたいという傲慢さから差別に参加することはおかしいと思います。

アメリカの歴史を学校で習う時、必ず教わるのが南北戦争から奴隷制度の禁止までの出来事です。「Netflix」で公開されているドキュメンタリー『13th -憲法修正第13条-』では、アフリカ系アメリカ人に対する差別の背景や歴史が分かりやすく解説されています。合衆国憲法の13条に、奴隷制度が終わっても、犯罪者からは搾取が許されていると捉えられる表記があります。ここから4つの過程を経て、黒人差別が行われているという問題提起をしています。

一つ目は、麻薬を違法化し、犯罪の範囲を広げること。リチャード・ニクソン大統領の下で内政担当大統領補佐官だったジョン・アーリックマンという人がいます。彼は、黒人とヘロインなどを結び付けて取り締まっていたことを、1994年に認めました。二つ目に、コカインを所持した有色人種の罪が重くなりました。結果として黒人の犯罪率が高くなり、警察の取り締まりも暴力的になりました。三つ目に法律、特に2005年にフロリダで発行された正当防衛法などで警察の権力乱用が問題になりました。最後に、高額で不平等な裁判制度により無実のアフリカ系アメリカ人まで犯罪者として扱われています。拘留された過半数の人が裁判を諦めざるを得ず、長い期間、牢屋で暮らすことを選んでいきます。

アメリカ国勢調査局によると現在、黒人男性は全米人口の6.5パーセントのみ。しかし、10万人あたりの刑務所収容人数は

約1000人と、白人の5倍です。大量投獄により、なくなったはずの奴隷制度が違う形で続いているのです。これは、権力を持つ人々や大企業が、法律で黒人を環境的な負のスパイラルに押し込めている、差別的なシステムと言えるかもしれません。

黒人差別には、私たち日本人も加担していると感じます。日本は単一民族で、統一された文化と価値観を持っているため、外国人差別の問題があります。在日朝鮮人に母国に帰れと言ったり、外国人労働者を利用したりなど聞くこともあるでしょう。また、世界各地で人として扱われていない人々がいます。その事実を踏まえ、差別をなくすにはどうすべきか。人間の強みは、一人一人違う考えを持つ中で、支え合って生きていけるころだと思えます。しかし、世界では人種差別だけでなく性差別、年齢差別や、宗教差別、容姿差別などが尽きません。

心の奥底でカテゴリー分けをしてしまうことは避けられないかもしれません。しかし、私たちが日々先入観や偏見に気付き、直していくところから意識は変えられます。例えば、「あの新しいハンバーガー屋さんがとてもおいしいよ!」と友達に勧められた時。「いやいや、In-N-Outを超えるものがあるはずがない、食べに行くのは時間の無駄だ」と否定から入るのではなく、実際に行ってみたら、世界一おいしいポテトに出会える可能性もあります。そうやって自身の経験を通して、意見を固めていくべきです。

他にも見直すべき点は数え切れないほどあります。自己肯定感の低さや、辛い状況の中で立ち直れるかどうか、自分の好きなことへの情熱など、それぞれ信じていることは多くあると思います。そんな自分の中で強く信じている「事実」を、どうして自分はそれが正しいと思っているのか、正当な理由を持つことはとても大切です。それを日々自問自答していくと、根拠のない偏りがなくなり、心の柔軟性を高められます。

私たちには、多様な人種と触れ合う機会が多いアメリカでの経験を糧にし、国際理解を深め、無意識のうちに誤解を生む事態を減らす義務があると思います。5年前、日本では気付かなかった人種偏見に、アメリカで体験してからやっと気付きました。見た目や肌の色で人の価値を決め付ける差別は絶対に許されるべきではありません。全ての人により住みやすい社会を作ることについて考え、私たちは、知識を蓄えて積極的に行動していかなければいけません。ご清聴ありがとうございました。

各部会からのお知らせ

教育文化部会

「おにぎりアクションプログラム」に参加しての感想文

文：TOP Los Angeles・石田あす香さん

去る12月14日(月)に開催された「おにぎりアクションプログラム」に教育文化部会の代表として参加しました。コロナ禍という時節柄、「Zoom」を使ったバーチャルでの開催でしたが、参加者はOcean Charter SchoolのHitomi先生率いる生徒さん25名のほか、おにぎり作成の講師としてDebra Samuels先生をお迎えしました。最初に三森JBA会長が、多くのアメリカの生徒がおにぎり作りに興味を示していることへ喜びの気持ちを述べました。兄弟姉妹や両親も勢揃いで参加する生徒もあり、各自ワイワイと楽しそうに、時には真剣な面持ちでおにぎりを作る姿が「Zoom」を通して見ることができ、大変有意義な時間となりました。

日本人にとってのおにぎりの存在は、アメリカ人にとってのサンドイッチのそれに似ているのではないかと、私は個人的に思っています。各家庭にオリジナルのレシピや味付けがあり、みんなが懐かしくホッとできる、家族のマストアイテム。そんな我々日本人にとって身近で大切な食文化の一つをアメリカの子どもたちが楽しんでいる様子を拝見し、とても微笑ましい気持ちになりました。

今回、Debra先生から教わったおにぎりの具は、シーチキンマヨネーズとふりかけ。加えて市販の型抜きを使って、かわいらしいパンダのおにぎりも作りました。この経験を機に、子どもたちにはいろいろなおに



おにぎり作りに挑戦中。

ぎりの具を試してもらい、各家庭のオリジナルの一品を完成してもらえれば面白いと思えました。今回このような貴重なイベントに、教育文化部会が寄付をさせていただくことができたのも、Table For Two USA (TFT) の上島様ならびにJETROのご協力のお陰です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ダウNTOWN地域部会

「Zoom」講演による「リトル東京 de ナイト」を開催!

文：ダウNTOWN地域部会・リトル東京deナイト幹事一同

JBA会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。皆様にとって厳しい1年であったことと思います。しかし、いろいろな工夫でこの1年を乗り越え、平時の環境がどれだけ素晴らしいかを痛感し、忘れられない特別な2020年となったのではないのでしょうか。当部会では、企画したもののコロナの影響で中止せざるを得ないイベントが多く出てしまいました。そんな中でも、JBA会員の皆様に少しでも気分転換いただきたいという思いで、本イベントを企画しました。第一弾はAZAYさんと風月堂さんの協力で、特製お食事&デザートセットを用意しました。

そして、リトルトーキョーの歴史を副部会長である三木昌子さんに「Zoom」で講演いただくプログラムを企画しました。お陰様で33組の方にご応募いただき、瞬時に予定数50セットが完売。AZAYの店主であるAKIRAさんから「このような企画をしてもらい、元気をもらえた。とてもうれしい」とのお言葉をいただきました。

また、三木さんの講演では多くの方にリトル東京の歴史を知っていただけました。我々がこの地でビジネスが容易にできている環境は、先人の苦勞と努力が創り上げたものであり、差別との戦いの歴史の結果でもあるのだと深く考えさせられました。



先人の苦勞が築いたリトルトーキョーの歴史を学んだ。

この場をお借りし、本イベントに賛同いただいた皆様と本イベントをサポートいただいた皆様に深謝申し上げます。最後に、コロナの世界的な終息はまだまだ見通せない厳しい状況です。その中でも何とかこの環境を乗り越え、数年先に「あの時は非常に良い経験であった」と皆が感じられるようになってほしいと強く願い、2021年が皆さまにとって素晴らしい年となることをお祈りしております。

ダウNTOWN地域部会

「リレービデオメッセージ」1月の新着動画配信のお知らせ

文：ダウNTOWN地域部会担当委員

ダウNTOWN地域部会では、部会員の方々の投稿によるコロナ自粛生活・在宅勤務を楽しくする動画を随時配信しています。去る1月には以下の2動画を新たに配信しましたので、ぜひご覧ください。

「Agawa's Izakaya Magic 2」

https://youtu.be/wk_ojxNJpgg

提供:阿川知之さん(Bamboo River Travel)

前回も好評だった手品シリーズの第2弾です。阿川さんの軽妙なトークも楽しめます。

「趣味特技紹介 卓球」

<https://youtu.be/Kqldmly56mE>

提供:高橋融一さん(EOS Accountants LLP)

10歳から始めたという、高橋さんが得意とする卓球の腕前を披露しています。

サウスベイ地域部会

「おうちワインを楽しむ基礎講座」を開催しての感想文

文：森内諒さん・Kintetsu Enterprises Company of America

ワインセミナーは、例年サウスベイ地域部会の人気イベント。今年は昨年に引き続きソムリエの濱アリス氏を講師に迎え、12月18日にオンライン(「Zoom」)で開催しました。

ワインイベントといえば、お店でワインや料理を楽しみながらワインについての知識を深めつつ、参加者同士が交流を深めるイメージがあり、オンサイト開催ができな中どうなるかと思っておりましたが、案内を配信してすぐに40名定員締め切りとなり、オンラインでも当イベントへの期待感が伺えました。食事と飲み物については事前に参加者各自で用意いただく形とし、私も濱さんが事前に作成された購入おすすめワインリストを基にワインを準備して臨みました。

当日の内容は「おうちワインを楽しむ基



画面越しにワインで乾杯!

基礎講座」ということで、前回リクエストの多かったTrader Joe'sのワインに焦点を当てつつ、濱さんからおすすめワインやアイテムを紹介していただきました。Trader Joe'sに行ったことのある方はおそらく目にしたことがあると思いますが、いつも1.99ドルで売られている「Charles Shaw」のワインについて、安すぎて怪しい部分があり、おいしいのかどうか気になっていたのですが、本セミナー内で誕生秘話などトリビアを説明していただき、以後安心して購入することができています。何も知らない時よりも、説明を聞いて知識を得た後の方がおいしく感じるの私だけでしょうか。

今回はオンラインだったのでお店での開催と違い、参加者がミュートに設定することで講師の話を静かにじっくり聞くことができたのは良かった点だと思います。来年どのような形になるかは分かりませんが、引き続き開催してほしいイベントでした。

あさひ学園だより

中学部進学のための 日本語学力検査を実施しました

文：あさひ学園事務局

1月中旬、小学6年の児童を対象に日本語学力検査を行いました。この検査は、本校在籍の小学6年生が、中学部に進学

するための基準を確認するための大切な資料となるものです。一定の基準を満たさなければ、希望しても進学することができない場合があります。補習校で学ぶということは、日本の義務教育とは違って、アメリカでの教育を受けながら、さらに日本語での教科学習をするという至難の業をこなすことです。学習内容が深くなり、量も多くなる中学部では、必要な日本語学力がさらに求められます。

従来、実施時期は11月ですが、開校の目途が立たず、進学確認には最後の段階となる1月に実施することになりました。ですが、今年に入ってもなおコロナ禍で、引き続きオンライン授業となりましたので、この検査も初となるリモートでの実施となりました。児童はもちろんのこと教職員も、公正な試験を実施するために、いつもの授業以上に緊張した雰囲気となりました。

昨年12月から本格的に利用している「Google Classroom」にアップロードした問題用紙を、児童が各自ダウンロードして印刷。カメラはオンにし、本人と手を教職員がリモートで監視しました。提出は同じく「Google Classroom」を活用し、制限時間のある検査をスムーズに進められました。このような状況でも努力を積み重ねてきた児童らは、中学進学の希望が叶うことと思います。そして晴れやかな気持ちで卒業に向かっていくことでしょう。



初めてのリモートでの実施となった日本語学力検査。

新入会企業紹介

日系企業の活動が活発な南カリフォルニアで、日系企業をサポートすることを目的に入会しました。



ロバート小林さん

Odgers Berndtson

DATA

住 所：2 Grand Central Tower, 140 East 45th St., 44th Fl., New York, NY 10017

☎ 212-767-9430

Web：https://www.odgersberndtson.com

責任者：ロバート小林 (Partner)

従業員数：約1000名

他の営業拠点：世界30カ国に62拠点

Odgers Berndtsonは世界6位のエグゼクティブサーチファームで世界30カ国の60超のオフィスからグローバルに人材採用のサポートを行っている。300名を超えるパートナー、プリンシパルを抱え、米国には13のオフィスを置く。営利企業、パブリックセクター、ノンプロフィットを含め50を超えるセクターをカバー。エグゼクティブサーチに加え、リーダーシップ・プラクティスではエグゼクティブコーチング、アセスメントなどの各種人事コンサルティングサービスを提供している。

「パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム」は 米国駐在員の皆さまのニーズにお応えします

- ・渡米前に日本で米国の銀行口座を開設し、生活費を送金したい
- ・米国赴任中も銀行口座について日本語でやりとりしたい
- ・米国到着後、すぐにカードで現金を引き出したい
- ・日本帰国後も米国の銀行口座を利用もしくは帰国後に解約したい

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669**

(フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group

©2021 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC. Equal Housing Lender.

Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at unionbank.com/prcb

2/3月のJBAイベントカレンダー

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

2/6 (土)

Online料理教室

オレンジカウンティ地域部会

2/19 (金)

賀詞交歓会 (バーチャル開催)

企画マーケティング部会

2/20 (土)

小さなゴルフコンペ

サウスベイ地域部会

2/27 (土)

おうちで楽しく ひなまつり!

オレンジカウンティ地域部会

3/5 (金)

サウスベイ地域部会期末総会

サウスベイ地域部会

3/12 (金)

JBA 60th Anniversary Forum

商工部会

3/26 (金)

2020年度JBA総会 & あさひ学園総会

JBA

新入会員

Odgers Berndtson

140 East 45th St., 44th Fl., New York, NY 10017

☎ 212-767-9430



極上の和食、いせしま。

いせしま
Ise-shima
at the MIYAKO

都ハイブリッドホテル1階
(310) 320-6700
www.ise-shima.us



トーランスとダウンタウン 都ホテルは2つのチョイス。

MIYAKO
HYBRID
HOTEL

都ハイブリッドホテル トーランス・カリフォルニア
21381 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111 Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

MIYAKO
HOTEL
LOS ANGELES

都ホテル ロサンゼルス
328 E. First Street, Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000 Fax: (213) 617-2700
www.miyakola.com

ご宿泊はJBA会員企業特別料金をご利用頂けます。詳細は各ホテルへ直接お問い合わせください。

- ・オンライン販売を強化したい。
- ・顧客データを整理・活用したい。
- ・顧客サポートを充実させたい。
- ・サプライチェーンを見直したい。
- ・業務プロセスを効率化したい。
- ・取引リスクを適正に管理したい。

そんな悩みをお持ちなら、

 Hitachi Solutions

あなたのビジネス・ソリューション・パートナー

お問合せ **+1-650-615-7621** 担当: 高木・黒田まで
info-jp@hitachisolutions.com

Webをチェック <https://global.hitachi-solutions.com/>

Microsoft Partner 

Gold Enterprise Resource Planning
Gold Application Development
Gold Cloud Business Applications
Gold Data Analytics
Gold Cloud Productivity